

令和2年度 地域医療連携推進法人尾三会 評議会 会議録

開催日時：令和2年6月9日（火）15時より16時

開催場所：学校法人藤田学園 大学2号館5階 理事会室

出席者：大林市郎評議員、高橋元治評議員、今原孝評議員、星長代表理事、湯澤由紀夫理事、
安藤事務局長

1. 開会の辞

- 星長代表理事が開会の辞を述べられた。

2. 報告事項

- 参加施設について、本年度4月より医療法人大朋会（岡崎共立病院）及び医療法人メディアライフ（半田中央病院）の追加があり、現在32施設となったことを報告した。
- 現在の事業進捗状況及び令和元年度事業報告について、安藤事務局長が説明した。

〔評議員からの評価、意見〕

- ◇ 潜在看護師復職支援事業について、高く評価された。
- ◇ 職業紹介事業について、紹介斡旋料が一般的に高額であることが各参加施設の問題となっていることに対し、当会では低価格で設定していることへ高い評価をいただいた。また、看護師以外の職種への紹介にも期待があった。
- ◇ 人事交流や講師派遣などの教育事業について、良い評価をいただいた。また、現在のコロナ禍においてはWEBセミナーの開催など、ITの活用への期待が寄せられた。
- ◇ 医療機器共同購入について、経営効率化につながる良い提案だと評価された。
- ◇ 藤田医療情報ネットワーク（ID-Link）の公開情報の拡張、オープン化について高く評価された。
- ◇ 電子カルテの共有化に関して、引き続き双方向での検討することに期待を寄せられた。
- ◇ 電子カルテのビッグデータ利用について、質問があった。
⇒ 湯澤理事より、尾三会での活用には時間を要することを説明した。
- 決算書について、安藤事務局長が報告した。また、監査法人及び監事の監査が終了している旨を併せて報告した。
- 令和2年度事業計画について、今後の日程及び事業推進を安藤事務局長が説明した。

3. その他

- 評議員の選任について、星長代表理事が説明した。

4. 閉会の辞

- 星長代表理事が開会の辞を述べられ、閉会した。